

以下のデータは、英辞郎 Ver. 168 で追加された全データのごく一部です。
これらのサンプルデータにおいては、漢字の読み仮名が削除されています。

コンピューター／インターネット

■affiliate link：アフィ（リエイト）リンク◆ウェブ上の広告の一種。リンク先（オンラインショップなどの、広告主のページ）へのトラフィック誘導を狙ったもの。そのシステムに参加する第三者（例えばブログを公開している人）が自分のページ上にリンクを挿入し、成果などに応じて報酬を受け取る。

■click-happy {形-1}：〈話〉やたらと〔何でもかんでも〕クリックする◆せっかちな（慎重でない）性格のパソコンユーザーなどについて。例えば、イライラとリロードボタンを連打したり、怪しげなファイルを平気で開いたりする様子。

■click-happy {形-2}：〈話〉すぐ〔速攻で〕ポチる◆オンラインショッピングが大好きな人などが、深く考えずに注文ボタンを押す様子。

■Content Security Policy：コンテンツ・セキュリティー・ポリシー◆ウェブページの表示に関連して、ブラウザのセキュリティー関連の挙動を制御するメカニズムの一種。

◆【略】CSP

■cyber mercenary：《a～》サイバー傭兵◆組織から報酬を得てサイバー攻撃を代行する人

■double texting：ダブルテキストイング、メッセージの連投◆相手にメッセージを送信し、その返事が来る前にさらにメッセージを送信すること。

■dweet {名}：ドゥワイト◆酔っ払いながら書き込んだツイート◆【語源】drunk + tweet◆【参考】tweet

■finfluencer {名}：フィンフルエンサー◆ソーシャルメディアまたは SNS で金融に関する(financial)アドバイスを提供することによって、フォロワーを増やしている人◆【参考】influencer

■free/libre open-source software：オープンソースの自由ソフトウェア◆意味は free open-source software (FOSS)と同じ。ソースコードが公開されていて、ライセンスに従う限り、誰もがそれを自由に利用できる。◆【略】FLOSS◆【参考】libre software

■HTTP Strict Transport Security：HTTP ストリクト・トランスポート・セキュリティー◆ウェブページの閲覧において、あるドメインについて、以降 HTTPS だけを使って通信するよう強制するメカニズム。毎回サーバー側で HTTPS にリダイレクトするコストを節約でき、リダイレクトに伴うセキュリティー上の問題がなくなる。半面、ブラウザ側にリダイレクト情報（ドメインの閲覧履歴）が長期保存されることなどから、潜在的なプライバシー上の懸念も指摘されている。◆【略】HSTS

■internet fad：インターネット発の〔上での〕（一時的）流行◆言葉・行為など

■ libre software : 自由ソフトウェア◆「ソースコードを入手・研究・変更・再利用する自由」が重視され、ライセンス上、それを保障しているソフトウェア。◆伝統的には free software (フリーソフトウェア) と呼ばれるが、free という語には「無料」という意味もある。誤解を防ぐため (無料で使えることと、ソースコードを自由に利用できることは別問題)、それを libre と言い換えたもの。伝統的名称も尊重して free/libre software と呼ばれることも多い。

■ limit the number of password attempts : パスワードの試行回数を限定する

■ online behavioral advertising : オンライン行動ターゲティング広告◆【略】OBA

■ place an online order : オンラインで注文する [を入れる]

■ restore ~ from backup : [データなど] をバックアップから復元 [リストア] する

■ split the window in two : ウィンドウを2分割する

■ total follower count : [ツイッターなどの] フォロワー総数

■ vaccine hunter : ワクチン・ハンター◆インターネットを使えない人のために、ワクチン接種のオンライン予約を代行する人。

■ Web scraping : ウェブスクレイピング◆ウェブサイトから情報を抽出すること。◆【参考】scraping

医学

■ breakthrough infection : ブレイクスルー [打ち抜き] 感染◆ワクチンを接種した人が、そのワクチンが予防するはずの病原体に感染すること。

■ bungalow leg : バンガローレッグ◆平屋 (bungalow) に居住し、階段を上り下りする必要がないため、脚 (leg) の筋力が低下した状態。

■ cardio zone : カーディオゾーン◆有酸素運動 (cardio exercise) において、心肺機能を強化できる心拍数領域

■ coronasomnia {名} : コロナ不眠症◆コロナウイルス感染症の大流行に関する不安のために安眠できない夜が慢性的に続く状態。◆【語源】coronavirus + insomnia

■ COVID toe : コロナつま先◆コロナウイルス感染症 (COVID) が原因で、足のつま先がしもやけのように赤く腫れあがる症状。

■ COVID-19 party : コロナパーティー◆コロナウイルス感染症に罹患すること、またはそれを拡大することを目的として開かれるパーティー

■ home separation anxiety : ホーム・セパレーション・アングザイアティー◆ロックダウン (lockdown) などが原因で自宅で長時間過ごした後で、自宅から離れること (separation) に不安 (anxiety) や恐怖を感じる事。

■ immune checkpoint inhibitors : 免疫チェックポイント阻害剤 [薬] ◆【略】ICI

■ lockdown foot : ロックダウンフット◆ロックダウン中に自宅で素足 (またはスリッパ)

で過ごす生活が続き、足が変形して、靴を履くのが困難になること。◆【参考】lockdown

■lockdown party : ロックダウンパーティー◆ロックダウン中にウイルス感染症に罹患すること、または感染を拡大することを目的として開かれるパーティー◆【参考】lockdown

■long COVID : ロング・コヴィド◆コロナウイルス感染症(coronavirus disease)の長期的な後遺症

■medical code of ethics : 医療倫理規定

■quarantine 15 : 外出自粛太り◆感染症が大流行している時に、外出自粛によって在宅時間が増え、運動不足や食べ過ぎによって体重が15ポンド(6.8kg)増えること。

■scariant {名} : スケアリアント◆危険であるという科学的証拠がないのに、メディアの報道の仕方によって、人々が恐ろしい(scary)と感じるウイルスの新たな変異種(variant)

その他

■all but nonexistent : 《be ~》ほとんど存在しない、有って無いようなものである、無きに等しい◆「全く存在しない」とは言い切れないが、限りなくそれに近い。

■back-to-back hurricanes : 連続(的に来る)ハリケーン◆一つが通過した後、すぐ別のハリケーンが襲来

■climate repair : 気候の修復、気候変動対策◆地球の環境を気候変動前の状態に戻すための活動。例えば、大気中の過剰な二酸化炭素を除去することなど。

■crazy genius : 奇人[異端・常識外れ]の天才◆奇行が多いが卓越した能力の持ち主。例えば、マッドサイエンティストのような人。

■drug-free athlete : ドーピングとは無縁の(運動)選手

■dumbocracy {名} : 〈俗〉愚民主主義、ばかによるばかのための政治、愚民による愚民のための政治◆「形式は民主主義だが内容は愚か」という状態をやゆした表現。有権者の多くがだまされているような場合、多数決による意思決定は悪い結果を招き得る。◆【語源】democracyをもじった造語。demo-(人々)を、音が似ているdumb(ばか)に置き換えた。

■ex post facto justification : 事後の正当化◆実行時点では正当性が疑わしい行為などについて

■fake woke : 〈米俗〉フェイク・ウォーク◆社会問題に対する意識が高くないのに高いふりをすること。◆【参考】woke

■feel left behind : 置いてきぼりにされた感じがする、取り残されたような気がする[気分である]◆孤独感・疎外感などについて

■flak gear : 防弾(用)装備、防弾ギア◆軍・警察で使われる防弾服など。小さい銃弾・飛び散る破片などによる負傷を防ぐためのもの。

- Goldbach partition : 《数学》二つの素数の和として表すこと [方法] ◆偶数について。例えば 12 を 5 と 7 に分割すること。◆【参考】Goldbach conjecture
- Hycean planet : 《a ~》ハイセアン惑星◆水素 (hydrogen) を豊富に含む大気と海 (ocean) が存在し、生命が存在できる可能性のある惑星 (planet)
- if the worst were to happen : 仮に最悪の事態が起きたとして、[最悪の事態について] 万一の場合
- impossible deadline : 無理 [むちゃ] な締め切り
- isotope with a short half-life : 《物理》半減期の短い同位体◆複数形で使われることが多い (isotopes with short half-lives)
- lepidopterophobia {名} : チョウ恐怖症◆鱗翅目 (チョウ目) の昆虫を異常に怖がる状態
- let someone's comment go : (人) のコメントを聞き流す◆不愉快な発言などについて。同意するわけではないが、反応・反論せず、勝手に言わせておく。
- local dimming : 《電子工学》ローカルディミング、部分駆動◆液晶テレビの LED バックライトの明るさを映像の明るさに応じて調整することによって、コントラストを上げる手法。
- make a snide comment : 皮肉っぽい [意地の悪い・相手を小ばかにしたような] コメントをする
- make as little eye contact as possible with : (人) と極力 [なるべく・できるだけ] 目を合わせないようにする◆気まずい場合・関わり合いになりたくない場合など
- materialistic thinking : 即物 [物質主義] 的な思考◆理念・精神的な豊かさ・目に見えないものの価値などを軽視し、損得勘定で判断する。
- motherhumper {名} : 〈卑俗〉げす野郎◆罵りのタブー語 motherfucker を少しぼかした表現
- not out of the realm of possibility : 《be ~》可能性がないわけではない、不可能とは言いきれない◆【直訳】可能性の領域の外ではない
- peripheral victim : 巻き添え (の) 犠牲者、間接犠牲者
- primordial nuclide : 《物理》原生核種
- scam caller : 〈話〉電話詐欺師、詐欺 (まがい) の電話をかける人
- sign a truce agreement : [争っている両陣営などが] 停戦協定に署名 [調印] する、停戦協定を結ぶ
- smarticle {形} : 〈俗〉賢い、お利口さんの
- soonicorn {名} : スーニコーン◆近い将来 (soon)、ユニコーン企業になる可能性が高いスタートアップ (新興) 企業。◆【参考】unicorn company
- stay completely silent : 完全に黙りこくっている、全く何も言わない
- sue the living shit out of : 〈卑俗〉訴訟を起こして (人) をぎゃふんと言わせる、

(人)を裁判でたたきのめす [ボコボコにする]、(人)を訴えて目玉が飛び出るような賠償金を払わせる

■switcheroo {名-2} : 〈米俗〉替え玉(作戦)、[双子などが]こっそり入れ替わること [いたずら]

■up the stakes {1} : 賭け金を増やす◆この up は動詞

■up the stakes {2} : 〈比喩〉大きな賭けに出る、ハードルを上げる、結果の重大性を大きくする◆「成功すれば利益が大きい、失敗すると損害が大きい」という状況にする。

■wheelchair-friendly {形} : [施設・環境など]車椅子でも利用しやすい、車椅子に(も)優しい◆【参考】universal design ; barrier-free

■wheelchair-unfriendly {形} : [施設・環境など]車椅子に優しくない、車椅子での利用が難しい

■work from anywhere : ワーク・フロム・エニウェア、どこでも勤務◆自宅に限らず、どこからでもリモートで仕事ができるという働き方。◆【略】WFA

■zoochosis {名} : ズーコーシス◆動物園(zoo)に閉じ込められている動物が患う精神病(psychosis)

略語

■ECDSA : =elliptic curve digital signature algorithm●楕円曲線 DSA [電子署名アルゴリズム]

■HBLED : =high-brightness LED●《電子工学》高輝度 LED

■PRRT : =peptide receptor radionuclide therapy●ペプチド受容体放射性核種療法

■TAT : =targeted alpha therapy●標的アルファ療法

例文集「例辞郎」

■Anything could happen now. : 今や [こうなると] もう何が起きてもおかしくありません。

■Did that really just happen? : 今のは本当に起きたことなのですか? / 何かの見間違いか? ◆【場面】目を疑うようなこと・信じられないようなことが起きた。

■For every action, there is a reaction. : どんな作用にも反作用があります。 / 作用があれば反作用がある。◆ニュートンの第 3 運動法則。比喩的に「良い作用があれば悪い副作用もある・長所があれば短所もある・何をしても反対する人はいる」などの意味でも使われる。

■He says jump, she says how high. : 彼女は、完全に彼の言いなりです。◆【直訳】彼が「ジャンプしろ」と言う、彼女は「どのくらい高く?」と言う。⇒ どんな命令をされて

も疑問を差し挟まない。それどころか、命令されていない細部に至るまで、わざわざ確認して相手の望むとおりにしようとする。

■It doesn't matter now. : 今は[差し当たり]問題ありません。／今となっては、どうでもいいことです。／済んだ話さ…。

■It has been almost a year. : もうそろそろ1年か…。◆【場面】時間の経過について。感慨にふける場合など。

■Let's be friends forever. : いつまでも友達でいようね。

■Stuff you. : 黙れ、ばか。／うるせえ。◆タブー語は使われていないが、攻撃的な言い方。Stuff it up your ass.と同種の表現。「STFUと同じ意味」(STFをstuff, Uをyouと読んだ)と考える人もいる。◆【類】Shut up.◆【参考】STFU ; Stuff it.

■This sounds a little too good (to be true). : ちょっと話がうま過ぎるようだ。◆【場面】「本当にそんなうまい話があるのだろうか。何か怪しい」と感じる。

